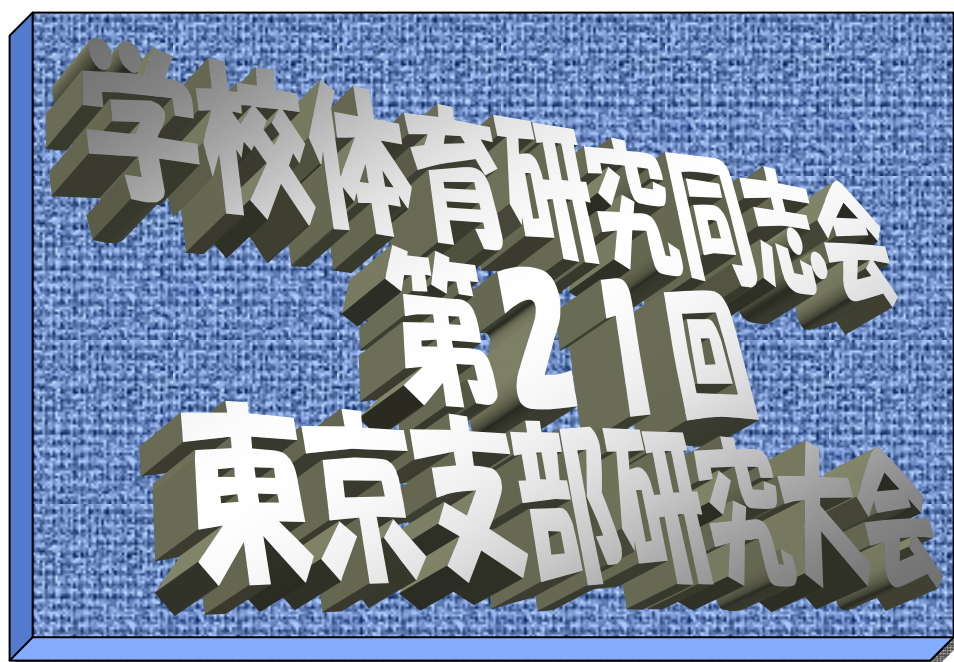




2012年夏
みんなで輝く体育
できる・わかる・つながる

日時: 8月18日(土) 19日(日)

場所: 和光中学・高等学校

後援: 町田市教育委員会

SCHEDULE (当日日程)

時程	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
18日(土)		受付 8:50 ~	開 会 式	オリエンテーション 分科会Ⅰ 実践報告または実技① (動きやすい服装・靴で)	昼食 (各自で用意)	分科会Ⅱ 実践報告または実技② (動きやすい服装・靴で)		移動		特別講座
19日(日)			分科会Ⅲ 実践報告または実技③ (動きやすい服装・靴で)	昼食 (各自で用意)	分科会Ⅳ 実践報告または実技④ (動きやすい服装・靴で)	実技交流会				

ACCESS (参加方法・行き方)

会場: 和光中学校 東京都町田市真光寺町1291

申し込みは簡単!

申込書を郵送するかメールを送るだけ!

8月10日までに申し込まれた方にはスポーツ保険を
かけています!

参加費: 2日 4000円

1日 2500円 (会員は1日2000円)

学生 1000円

もちろん当日参加もOK!

※ 申し込み先

FAX 042-579-1228

メール jimmy.i@mbh.nifty.com

郵送 〒205-0001

羽村市小作台4-6-2プリマベラ多摩川台301

井上 佳昭



最寄駅からのバス路線 (乗車時間約15分)

小田急線『鶴川駅』からバス神奈川中央交通バス「(センター経由、6丁目経由) 鶴川団地」
行き終点下車。

駅からの発車時刻: 鶴川団地に向かう鶴11・鶴12・鶴13系統は8時~9時の間は約7
分間隔でバスは発車します。

分科会

分科会 1

「マット運動」

～身体と会話するマット運動～

内容

動物歩きでマットに必要な感覚を楽しく学び、連続技につなげていきます。どちらも仲間と共にワイワイ考えることができる教材です。(小学校低～高学年)

分科会 2

「跳び箱」

～「体の『しめ』」を意識して跳び箱やってみよう～

内容

ヘッドスプリングは体の「しめ」と動作の「ため」「はね」の感覚が大事です。これらの感覚は、なかなか養うのがむずかしいものです。ねこちゃん体操から、それらの感覚を少しずつ身につけ、楽しく、みんなでみんなができる「跳び箱運動のポイント」を提案します。(小学校1年～中学校)

分科会 3

陸上運動「リレー・リズム走・長距離走」

～技術で結び合う、体と対話する陸上運動の学習～

内容

バトンパスの技術を学ぶことにより、どの子にもリレーの面白さを味わわせよう。自分の走り方をよく知って、走りを変えてみよう。長距離を走るときのプランを身体と相談しながら立ててみよう。
(小学校 中高学年)

分科会 4

「ボール運動：ハンドボール」

～低学年ハンドボール（ポケシュートゲーム）から高学年ハンドボールへ～

内容

ボール運動では、コンビネーションプレーからシュート（2人の攻め）が中心になります。そのコンビネーションの技術とは何か、何を（教科学習内容）どう（指導）教えるのか。これまでのシュートゲーム的当てゲームと違って低学年でのラグハンド「ポケシュートゲーム」の授業作りで提案します。(小学校低学年～高学年)

分科会 5

ボール運動「タッチボール・タッチバスケ」

低学年「的当て・シュートボール」中学年「タッチボール」高学年「タッチバスケ」への系統立てた指導

内容

「ボール運動の指導」ってどうするの？
「いつ、どこに動けばいいか」がわかる『タッチボール』ドリブルなしでバスケットの楽しさを味わう『タッチバスケ』を提案します。(小学校中～高学年)

分科会 6

「フラッグフット・タグラグビー」

～アメリカ型・イギリス型スポーツの比較～

内容

新指導要領に例示された2つの陣取り型ボール運動教材。実はこの2つのスポーツはもともと同じボール運動でした。そして、ラグビーはイギリスで、アメフト（フット）はアメリカで発展していきました。2つの教材を比較することでそれぞれのスポーツの特徴を考えます。(小学校中学年～高学年)

分科会 7

水泳「ドル平・近代泳法」

～どの子にも水泳の楽しさを味わわせる

内容

新指導要領の中学年に「呼吸をしながらの基礎的な動き」が位置づけられました。体育同志会では基礎泳法として「ドル平泳法」を位置づけ、実践研究を積み重ねてきました。分科会では、「ドル平泳法から近代泳法へ」の学習の流れ、技術学習の系統性を実践報告と実技を通して学びます。

分科会 8

健康教育の授業づくり

「今、福島で起きていること」

～命と健康を考える～

内容

原発事故はどの様にして起きたか、放射能とは何か、今福島はどんな状況なのか…、子供達はとても知りたがっていました。子どもの疑問から出発し、まず科学的に捉えることを大切にしました。映像や手記などたくさんの資料をもとに感じたことを話し合ってきた実践を報告します。

分科会 9

「運動会表現：エイサー」

～子どもとつくる運動会表現～

内容

踊るリズムを内包する「エイサー」の実技をしながら、子どもの実行委員会が中心になって練習を進めていく実践を提案します。(小学校中高学年)

分科会 10

「中学校：柔道」

～柔道の系統的な指導を～

内容

4月から中学校の新指導要領の全面実施に伴い、武道の必修化が始まりました。多くの学校で「柔道」を選択することが予想されていますが、同時に柔道事故の危険性が指摘され、授業を不安視する声もあがっています。かつて「柔道分科会」で研究を積み重ねてきた体育同志会の柔道研究の成果をみんなで共有します。

特別講座

体育同志会以外の民間教育研究団体に参加してもらい、国語・算数・理科・社会の各講座を予定しています。

TEL (問い合わせ)

問い合わせ先

吉澤（世田谷・桜町小）

080-6636-0773

菅野（中野・白桜小）

090-3515-1505

学校体育研究同志会 第21回東京支部研究大会申込書

お名前	
ご住所	〒
勤務先	学校名
参加回数	回（わからなければだいたいでもかまいません）
会員・未会員	会員 ・ 未会員 （○をつけて下さい）
希望分科会番号	